

# AD ALTIORA SEMPER

神戸市外国語大学学術情報センターだより 第31号 Nov 2009

## CONTENTS:

- ♪ 巻頭エッセイ - 益岡隆志先生  
「3つの年のはなし」
- ♪ 「神戸市外国語大学のマルチメディア設備と  
研究のための実験」  
- 本学院生
- ♪ オープンキャンパス「司書による書庫ツアー」
- ♪ ゼミガイダンス、はじめました。
- ♪ 図書館日誌(活動記録)
- ♪ 冬期休暇前の長期貸出
- ♪ 年末年始の開館予定
- ♪ 編集後記

## ♪巻頭エッセイ - 益岡隆志先生

### 3つの年のはなし

今からちょうど40年前の1969年—私が大学に入学した年であったのだが—は、インターネットの原形とも言えるアーパ（ARPA）ネットが開始された年だそうである。それは、コンピュータを結びつける通信ネットワークの時代の幕開けであった。そして今は「ネット社会」とか「ウェブ社会」と呼ばれる時代となった。

当時私が読んだ本に「情報洪水」という言葉が使われていたことを印象深く覚えている。情報洪水の時代であったとい

教授、学術情報センター長 益岡隆志

うのは私の実感でもあったように思う。高度経済成長が進むなか、情報の量的拡大を意識しないではいられなかった。その後、ネット社会（ウェブ社会）が到来し、情報洪水という言葉よりも「情報革命」という言葉のほうが相応しい状況となった。

徳田雄洋氏の『デジタル社会はなぜ生きにくいのか』（岩波書店、2009年）によれば、インターネットに代表されるデジタル化が始まった「デジタル化元年」は1984年であるという。1969年か

らわずか15年後のことである。1984年と言えば、英国の作家ジョージ・オーウェルの作品『1984』が思い起こされる。奇しくも、2009年の今年、名作『1984』が日本で大きな話題になった。言うまでもなく、それは今年出版された村上春樹のベストセラー小説『1Q84』がもたらしたものである。このベストセラー小説の登場により『1984』が再度日の目を見ることとなった。

オーウェルは1949年刊行の『1984』で35年後の世界を予測した。その予測のなかに、書物は機械によって書かれるというくだりがあるが、現実起こったのは、機械の助けによって文章を書くようになったことである。1984年にはワープロが普及しはじめていた（私自身も1985年にはワープロを使い始めたのであった）。オーウェルは35年後を予測したのであるが、それでは、我々は今から35年後の2044年を予測できるだろうか？情報化のスピードが早まる一方の時代、2044年の世界が

どうなっているのか誰も予測できないのではないだろうか。

そして、今年2009年の本学図書館（学術情報センター）の話となる。図書館は今年4月、増築工事が完成しリニューアルされた。1986年に本学が学園都市に移転されて以来の大規模なリニューアルであった。こうして建物というハード面は整備されたのであるが、課題はソフト面である。図書館（学術情報センター）は学術情報を蓄積し、それを提供するところである。その図書館のあり方を今後どう構想していけばよいのか。35年後の大学図書館がどうなっているかは予想できないにしても、将来を見据えた方向を探っていかなければならない。デジタル化が急速に進行するなか、非来館型の利用が高まることが予想されるが、そのような利用に応えるだけでなく、新たな来館型利用形態を模索する必要がある。また、図書館間の連携が求められる時代にあつて本学図書館の特性をどう生かしていくのかなど、検討課題は尽きない。（ますおか たかし）

※益岡先生が文中で取り上げられた図書を、本学図書館で読むことができます。[図書館より]

	『書名』 著者名	閲覧室での配架場所	
		請求記号	書架番号
1	『デジタル社会はなぜ生きにくい』 徳田雄洋	N080-25-1185	6
2	『1984』 George Orwell	(原著) N933.7-45	34
	『1984』 ジョージ・オーウェル	(和訳) N933.7-379	34
3	『1Q84 全2巻』 村上春樹	book 1	N913.6-541-1
		book 2	N913.6-541-2

## ♪ 神戸市外国語大学のマルチメディア設備と研究のための実験

本学 博士課程 大学院生

新たな論文や理論を発展させるには実験をすることが重要である。

2007年の修士課程の研究では言語心理学の分野において第二言語が母語に与える影響について詳しく調査するために、外国語を長い間勉強した日本人学生とその経験のない学生とを比較する実験を行った。

この実験を行う際、神戸市外国語大学にある情報メディアの設備を使用させてもらった。

その実験では被験者に作文と音声録音をさせた。作文を書いてもらう際に、CALL教室のコンピューターに設定されているMicrosoft OfficeのWordというワープロを使用した。

これは被験者には慣れているプログラムなので、詳しい使用方法を説明する必要はなかった。また、音声の実験に関しては録音専用プログラムが非常に有効であった。

特に、4回生に関してはアルバイト、就職活動、部活、試験、授業発表などで実験のためにまとまった時間が取れないため、同時に数人の被験者のデータを取ることができたのは非常に役立った。

以上に述べた神戸市外国語大学が提供して下さった設備を使用することができ、研究を迅速また的確に進めることができた。

## ♪ オープンキャンパス 「司書による書庫ツアー」&展示

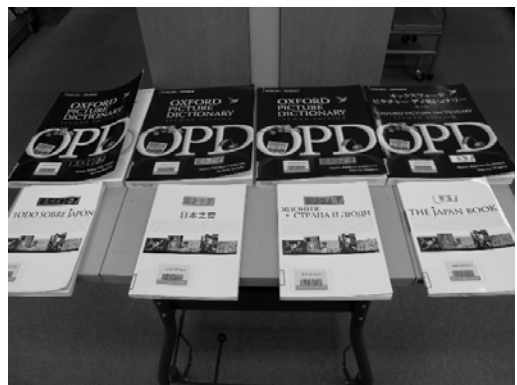
8月9日(日)23日(日)、オープンキャンパスが開催されました。

学術情報センターでは、両日の午前と午後に各1回ずつ計4回、来場した高校生・保護者の方を対象とした「司書による書庫ツアー」を実施しました。

書庫を巡りながら、日本の小説が中国語やロシア語に翻訳されたものを紹介したり、参加者の生年月日の新聞記事をご覧いただくなどの内容で、参加された方には好評でした。

また、閲覧室ではみられない、雑誌のバックナンバーの並んだ様子や、電動の書架なども興味を持ってご覧いただけた様子でした。

閲覧室では専攻4言語の外国語図書を展示しました。各言語の料理の本や絵本、ポップカルチャーを扱った雑誌などを並べ、来場された方に気軽に手にとって見ていただけるようにしました。特にクイズの本が人気を集め、長時間見入ってしまう方が続出しました。



Oxford Picture Dictionary (イラスト入り辞典)なども各言語版を揃えてみました

## ♪ ゼミガイダンス、はじめました。

以前より先生方からご要望がありましたゼミ対象の図書館ガイダンスを今年度より本格的にはじめました。6月の告知直後からお申し込みがあり、前期は4～5月の試行期も含めると、22名の先生のゼミで25コマ実施し、211名の学生が受講しました。

多くのゼミで実施したAコースでは、初めの30分を図書館見学ツアーにあて、その後の60分で文献検索講習を行いました。

写真：図書館ガイダンスの様子  
書庫の見学

### 図書館見学ツアー（書庫・電動書架の前）

図書館見学ツアーでは、学部生にとっては「図書館の裏側」といえる書庫を中心に回りました。地上3階建ての書庫には、閲覧室の蔵書数の何倍もの図書や雑誌・新聞のバックナンバー、さらには卒業論文などが収められています。また、電動書架など書庫ならではの設備もあります。受講生は書庫全フロアを回り、外大図書館の資料の全貌を把握した後、膨大な資料のなかから必要なものを入手するには効率的な検索が求められることを確認し、次の文献検索講習に進みました。

### 2009年度前期実施一覧 \*は試行期

番号	実施日時		コース	人数
1*	4/16(木)	3限	A	21人
2*	4/17(金)	3限	A	9人
3*	4/24(金)	4限	A	3人
4*	5/1(金)	4限	A	16人
5	6/15(月)	7限	A	4人
6	6/18(木)	5限	A	9人
7	6/26(金)	4限	A	7人
8	6/26(金)	5限	A	8人
9	6/29(月)	6限	A	4人
10	7/1(水)	6限	A	9人
11	7/2(木)	5限	C	9人
12	7/3(金)	6限	A	7人
13	7/3(金)	7限	A	9人
14	7/9(木)	3限	A	4人
15	7/9(木)	6限	A	9人
16	7/10(金)	3限	A	8人
17	7/13(月)	5限	A	7人
18	7/14(火)	3限	A	7人
19	7/14(火)	6限	A	6人
20	7/21(火)	4限	C	6人
21	7/22(水)	7限	A	3人
22	7/24(金)	3限	A	13人
23	7/24(金)	4限	A	11人
24	7/27(月)	5限	A	10人
25	7/28(火)	4限	A	12人
計				211人

A: 図書館見学ツアー＋文献検索講習（90分）

B: 図書館見学ツアーのみ（30分）※未実施

C: 文献検索講習のみ（60分）

文献検索講習では、ゼミのテーマに合わせて図書・雑誌論文・卒業論文の基本的な検索方法を紹介しました。

図書の検索では、受講生は実際にOPAC(蔵書検索)を操作しながら、「ヒットしやすくするための検索語の選び方」

「特定のテーマの図書をヒットさせるための検索語の選び方」など効率的な検索方法を学びました。また、雑誌論文の検索では、国立情報学研究所が提供する論文情報データベース「CiNii」<sup>サイニイ</sup>の使用方法和雑誌の所蔵情報の見方を説明しました。さらに、外大に必要な資料がないときの利用方法<sup>アイエルエル</sup>(ILL)と探し方について紹介しました。

写真：図書館ガイダンスの様子  
図書検索の演習中

文献検索講習(閲覧室・OPAC端末)

ガイダンス終了後には、アンケートを実施しました。ガイダンスの内容については概ね高い評価でした。特に、初めて入った書庫や今まで知らなかった検索方法が印象に残ったようです。

合わせてガイダンス受講生の図書館および資料の利用状況について質問しました。利用する資料は「図書」が、検索方法は「直接本棚を見る」「外大のOPACを使う」が圧倒的に多く、雑誌論文やデータベースの利用が比較的低いことがわかりました。しかしながら、ガイダンス実施後はCiNiiの利用件数が前年の4倍を記録する月もあり、利用状況に変化の兆しが見られています。

今後は、より多くの学生が図書館や資料を積極的に活用できるよう、参加しやすくわかりやすいガイダンスを企画していきたいと思います。最後になりますが、参加された先生・学生のみなさま、どうもありがとうございました。

(飯島)

### アンケートに多く寄せられた感想

- ・ 書庫に入ることができてよかった。
- ・ 本や雑誌がたくさんあって驚いた。
- ・ とてもわかりやすかった。
- ・ 知らないことが多かったので役にたった。
- ・ これからもっと図書館を活用しようと思った。
- ・ 検索のコツがわかってよかった。
- ・ 卒論を書くために参考になった。
- ・ もっと早く知りたかった。

2009 年度前期 ゼミ対象図書館ガイダンス学生アンケート集計結果(回答:211人)

Q1-1 あなたにとって今回のガイダンスは役に立ちましたか？		
役に立った	186人	88%
まあ役に立った	23人	11%
あまり役に立たなかった	0人	0%
役に立たなかった	0人	0%
無回答	2人	1%
Q1-2 図書館を利用してみようという気持ちになりましたか？		
なった	189人	90%
まあなった	20人	9%
あまりならなかった	0人	0%
ならなかった	0人	0%
無回答	2人	1%
Q1-3 説明はよくわかりましたか？		
わかった	191人	90%
まあわかった	18人	9%
あまりわからなかった	0人	0%
わからなかった	0人	0%
無回答	2人	1%
Q2-2 どのくらいの頻度で図書館を利用しますか？		
ほぼ毎日	18人	9%
週1回以上	128人	61%
月1回以上	45人	21%
年1回以上	17人	8%
今回が初めて	1人	0%
無記入	2人	1%

Q2-2 図書館でよく利用するものは何ですか？(複数回答)	
図書	183人
雑誌	20人
新聞	30人
卒業論文	2人
OPAC	59人
データベース	12人
ロビーPC	38人
視聴覚ブース	29人
その他	12人
Q2-3 文献を探するときには何を使いますか？(複数回答)	
直接本棚を見る	157人
参考文献を見る	26人
外大OPAC	161人
Webcat	5人
NDL-OPAC	2人
CiNii	13人
MAGAZINEPLUS	0人
google	25人
amazon	29人
その他	2人
Q3-1 今後ガイダンスが開かれるとしたらどのような内容を希望しますか？(複数回答)	
図書の探し方	38人
論文の探し方	55人
OPACの使い方	41人
データベースの使い方	54人
他大学の資料の探し方	73人
文献リストの読み方	65人
特定のテーマの資料の探し方	45人
その他	3人

2009年

- 6月 1日-7月 31日 ミニ展示「司書のおすすめD(Display)」第5回
- 4日 平成21年度公立大学協会図書館協議会拡大役員会（名古屋市立大学）1名派遣
  - 24日 第5回学術情報ソリューションセミナー in 大阪（大阪）1名派遣
  - 25日 2008年度(2009年3月)の卒業論文の提供開始
  - 28日 JapanKnowledge フレンドシップセミナー2009（大阪）1名派遣
  - 29日 図書館ウェブサイトのリニューアル
  - 29日 海外DB(人文社会科学分野)、国内DB活用セミナー（大阪）1名派遣
  - 30日 学術情報センターだより第30号(=本誌前号)発行
- ※ゼミ図書館ガイダンス(2009年6月)計5回
- 7月 7日-8月 4日 第2閲覧室2階の利用時間を、21:30までに延長
- 7日 平成21年度第1回大学図書館近畿イニシアティブ能力開発専門委員会  
(関西学院大学 大阪梅田キャンパス) 1名派遣
  - 17日 新聞データベースのトライアル 2種 ～7/31、～8/15
  - 22日 映画上映会 主催:本学院生、協力:木村学長(学内・小ホール) 図書館・協賛
  - 23日 自治体向けソリューションセミナー（大阪）1名派遣
  - 30日 平成21年度(第108回)兵庫県大学図書館協議会総会（大手前大学）2名派遣
- ※ゼミ図書館ガイダンス(2009年7月)計16回
- 8月 5日 私立大学図書館協会西部地区部会 2009年度第1回阪神地区研究会（神戸）1名派遣
- 5日-7日 平成21年度学術ポータル研修（名古屋大学）1名派遣
  - 7日 第41回(平成21年度)公立大学協会図書館協議会総会（大阪）2名派遣
  - 9日 オープンキャンパス「各学科の外国語資料の展示・紹介」「書庫見学ツアー」
  - 18日-24日 蔵書点検(期間中は終日閉館)
  - 21日 平成21年度公立大学協会図書館協議会「ホームページ講習会」(大阪市立大学) 1名派遣
  - 23日 オープンキャンパス「各学科の外国語資料の展示・紹介」「書庫見学ツアー」
  - 25日 平成21年度第2回大学図書館近畿イニシアティブ能力開発専門委員会  
(関西学院大学 大阪梅田キャンパス) 1名派遣
- 9月 2日-4日 平成21年度文化庁 図書館等職員著作権実務講習会（京都大学）1名派遣
- 16日 公私立大学図書館コンソーシアム・版元説明会（大阪府立大学）1名派遣
  - 18日 機関リポジトリに関する業務の実務者研修（大阪大学）1名派遣
  - 29日-10月 2日 平成21年度大学図書館職員短期研修（京都大学）1名派遣
- 10月 1日-11月 27日 ミニ展示「司書のおすすめD(Display)」第6回
- 6日 第1回機関リポジトリ支援のためのワーキンググループ会議（神戸大学）1名派遣
  - 9日 平成21年度第3回大学図書館近畿イニシアティブ能力開発専門委員会  
(大阪市立大学) 1名派遣
  - 15日-16日 大学図書館近畿イニシアティブ・中級研修（大阪市立大学）2名派遣
  - 27日 平成21年度兵庫県大学図書館協議会施設見学会（大阪大学）2名派遣
  - 30日 全国図書館大会 平成21年度(第95回)東京大会（東京）1名派遣
- ※ゼミ図書館ガイダンス(2009年10月)計2回

## ♪ 長期貸出(冬期休暇)

下記の通り、冬季休暇の長期貸出を行います。

長期貸出:12月7日(月)～12月25日(金)

所属・学年	貸出冊数	返却期限
1・2年生 科目等履修生 卒業生	7冊	2010年 1月14日 (木)
3・4年生	10冊	
院生	20冊	
研究生		

上記の期間中に借りた資料は、来年2010年1月14日(木)まで借りておくことができます。15日(金)～16日(土)はセンター試験のため終日閉館です。

又、1・2年生、科目等履修生、卒業生の方は、貸出冊数の上限が、通常の5冊から7冊になります。

尚、院生・研究生の方は12月17日(木)以降に借りられた場合の返却期限日は、通常通り4週間後となります。

## ♪ 年末年始の開館時間と休館日

12月16日(水)以降、年末年始の開館時間は次の通りです。

日付	開館時間
12/16(水)	9:00～21:10
12/17(木)	17:00～21:10
12/18(金)	9:00～21:20
12/19(土)	10:00～18:00
12/21(月)	} 9:00～21:10
12/22(火)	
12/24(木)	
12/25(金)	9:00～21:20
2010年 1/5(火)	} 9:00～16:30
1/6(水)	
1/7(木)	9:00～21:10
1/8(金)	9:00～21:20
1/9(土)	10:00～18:00

\*日曜・祝日および12月26日(土)～1月4日(月)は終日休館を致します。

## ♪ 編集後記

インフォメーション・commonsとよばれたりもする、サービスの前提となる学術情報提供の環境整備に力を注ぐことを第一義的に考える姿勢は、近年の利用者のトレンドだといわれる非来館型利用を視野に入れたサービスのあり方ですが、最近はそれに少し変化が現れてきていて、拡充強化した学術情報環境をベースにインタラクティブで利用者の自由な知的活動を支援するラーニング・commonsという考え方が、ハード・ソフト両面で実現化されつつあって話題となっています。

今年好評だったガイダンスも、そういう意味では古くから行われてきてはいますが、その目指すところが従来の枠組みを超えようとする意図を含んだ新しいサービスと位置づけることが出来るわけで、センター長が巻頭エッセイの末尾で述べている趣旨と一致するといえます。

尽きない課題の解決に向けての持続的な取り組みが要請されているのです。

編集責任者：学術情報センターグループ長  
牛原秀治

**AD ALTIORA SEMPER No.31** 神戸市外国語大学学術情報センターだより  
「AD ALTIORA SEMPER」とはラテン語で「常により高さを求めて」という意味です

編集・発行：神戸市外国語大学学術情報センター  
〒651-2187 神戸市西区学園東町9丁目1  
TEL: 078-794-8151 / FAX: 078-797-2257  
E-MAIL: mado@lib.kobe-cufs.ac.jp  
URL: <http://www.kobe-cufs.ac.jp/library/>

2009年11月30日発行

発行責任者：センター長 益岡隆志